

別記(四)

班々書

不才の如くは池谷社の社業を好む者も多し然れども今迄の経営より
 此の深甚なる考慮の私心は計程の答施をうしむるに躊躇の境
 へ之の所は又彼等が牛馬の如く是れを以て教へる其の永年一歩の
 杖藜の難しき情を計へ考慮の欠けり之れは物以類聚の如く
 殿の如くは警務部地の特例高等警察又大森工場の
 出入係御見警務部署長殿其の地^{甚下}記^難証^難上合社側
 / 好意の寛容を以て之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て
 心趣合社修築部部長殿迄一書翰を披見せしめしむる間
 之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て